

平成 28 年（2016 年）度事業計画 （平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

平成 28 年度は財政的に厳しい状況が継続すると認識しており引き続き会員の拡大や各種イベントへの参加増など収入増に注力しつつ、会員へのサービス向上に努めてゆく。

特に、本年度は本会創設 40 周年にあたり、記念事業や改革に向け下記の 4 点の活動を重点的に進める。

学会活動のポイント

- 1) 40 周年記念事業として、学術講演会概要集、研究会資料およびまぐねなどの電子化および CD 製作、販売を行う。
- 2) 理事会主導性を強化し、委員会相互の連携を通して学会横断的な改革を推進する。
- 3) メールマガジン、ホームページ、フェイスブックなどの電子媒体や学会誌および学術講演会などの発表の場の活用による情報発信の充実。特に、専門研究会の機動性ある活動を会員の皆様に周知を図って行く。
- 4) 学術講演会の公募シンポジウムを充実させ、より幅広い視点から議論できる場の発展。

I 事業の状況

1. 研究発表会、講演会等の開催（定款 4 条 1 号）

1. 1 学術講演会

磁気に関する基礎から応用までの全般にわたる研究成果の発表・討論の場として学術講演会を年度内に 1 回開催する。

本年度は平成 28 年 9 月 5 日（月）から 8 日（木）まで金沢大学（石川県金沢市）において第 40 回日本磁気学会学術講演会を開催する。本年度の学術講演会は、これまでと同様に国内外の新しい磁気に関する研究成果をもれなく集め、約 80 セッションを設け約 500 篇の講演論文を集めて行う予定。

1. 1. 1 学術講演会におけるシンポジウムの公募

第 40 回日本磁気学会学術講演会に開催予定のシンポジウムを引き続き公募制とする。これにより学会員の議論のさらなる活性化を図る。

1. 1. 2 学術講演会における非会員の講演登壇

第 40 回日本磁気学会学術講演会より非会員も講演登壇を可能とする。非会員であっても登壇料の支払いによって講演を認めることにより投稿数が増加することが期待できる。

1. 1. 3 学術講演会の概要集のウェブ配信化

第40回日本磁気学会学術講演会の概要集をウェブ配信化する。並行して、従来の概要集冊子の形でも別料金にて事前受付をし、従来のサービスも一部継続する。これらにより学会員の利便性向上を図る。

1. 1. 4 学術講演会の賛助会員のウェブ登録の実施

第40回日本磁気学会学術講演会においても賛助会員も学術講演会ホームページから事前登録を行えるようにする。賛助会員のウェブ登録の実施は、賛助会員の利便性向上だけでなく、受付業務の簡素化や学術講演会参加者の増加が期待できる。

1. 2 研究会

新しく、また興味深い磁気およびその応用を主題とした研究会を、年に5回を目安として定期的に開催する。本年度の研究会の開催計画は次のとおりである。

	開催期日	研究会の主題（仮題）
第208回	平成28年 6月	スピントロニクスにおける次世代材料開発
第209回	平成28年10月	反強磁性(3月末まで審議中)
第210回	平成28年11月	ナノマグ(3月末まで審議中)
第211回	平成29年 1月	ナノバイオ(3月末まで審議中)
第212回	平成29年 2月	高周波(3月末まで審議中)

1. 3 講習会、公開講座など

- ・ 「日本磁気学会初等磁気工学講座」と「日本磁気学会サマースクール」を学術講演会に引き続いて開催する。学術講演会日程（9月5日（月）－9月8日（木））と初等磁気工学講座（9月8日（木））およびサマースクール（9月9日（金）－9月10日（土））日程とを重ねることにより、予算を削減するとともに、学生の参加増加も期待できる。
- ・ 青少年を対象に、磁気に関する啓蒙的講座を開催する。
- ・ 第4回岩崎コンファレンスを5月16日（月）－5月17日（火）に、中央大学駿河台記念館にて、『医工学とビッグデータが拓く医療の未来』を主題に開催する。

1. 4 専門研究会

ナノマグネティックス専門研究会、磁気工学専門研究会、化合物新磁性材料専門研究会、光機能磁性デバイス・材料専門研究会、スピントロニクス専門研究会、強磁場応用専門研究会、Energy Magnetism 専門研究会、超高感度マイクロ磁気センサ専門研究会をそれぞれ年数回開催する。

2. 学会誌その他の図書の刊行（定款4条2号）

2. 1 学会誌および学会報の発行

平成 28 年度内に学会誌「Journal of the Magnetism Society of Japan」を、Vol.40, No.3（通巻第 280 号）から Vol.41, No.2（通巻第 285 号）まで隔月で年度内 6 回電子ジャーナルとして発行、会報「まぐね」を Vol.11, No.2（通巻第 93 号）より Vol.12, No.1（通巻第 98 号）まで隔月で年度内 6 回発行する。「Journal of the Magnetism Society of Japan」は英語の原著論文、レビュー論文など磁気の研究を掲載する。「まぐね」は特集記事を中心に解説、トピックス、連載講座、磁気研究よもやま話、新製品・新技術などを掲載し、磁気分野の最新情報発信源とする。

2. 2 出版活動の推進

企画委員会、編集委員会が連携して総務委員会主導のもと出版WGを組織し、出版事業を推進する。平成 28 年度は、教科書シリーズ 1 巻、啓発書シリーズ 2 巻の発行を目指して原稿の収集、刊行の手続きを進める。

2. 3 Journal of the Magnetism Society of Japan の ISI 取得に向けた取り組み

2018 年に Journal of the Magnetism Society of Japan の ISI 申請を目指し、定常的な論文の収集に努めるとともに、レビュー論文、国際会議プロシーディングスを積極的に発行し、活性化をはかる。論文数、引用数を増やすことを目的として以下の取り組みを実施する。

- Review 論文の充実

理事会、各専門研究会と連携し、多くの会員に執筆を依頼し、引用を促す。

委員会より依頼した Review 論文には投稿料を支払う。

- 投稿論文の充実

専門研究会からの投稿を募る。

投稿論文 50 本を目標に理事会の協力をあおぎ論文緊急対策をおこなう。

- 引用数の拡大

電子ジャーナルの OPEN ACCESS を継続する。

大きなイベントにタイミングを合わせた引用依頼を継続する。

2 年以内に発行された論文の著者と指導教員に最低 2 回の引用をおこなうよう個別に依頼する。

2. 4 40 周年記念事業

- 学術講演会概要集の電子化

1977 年第 1 回学術講演会概要集より 2016 年第 40 回までを電子化し CD 製作を行い、学術講演会等で販売する。

- 研究会資料の電子化

1977 年第 1 回研究会資料より第 189 回までを電子化および CD 製作を行い、学術講演会等で販売する。

- まぐね記事の電子化

会員の利便性向上を目的として、「まぐね」の 1 巻から 10 巻までを電子化した CD を制作して学術講演会等で販売する。

3. 研究および調査の実施

3. 1 会員サービスの拡大（定款4条3号）

技術情報サービスやメールマガジンの充実、フェイスブックの活用を図る。ホームページの充実のため、技術情報サービスに連動したバナー広告掲載、英文や Q&A などのコンテンツの充実、利用状況解析によるホームページ構成の改良を行う。

3. 2 会員獲得のための広報活動強化

各種会合、講演会、展示会などにおける学会広報活動を強化し、ポスターや入会案内パンフレットなどによる会員入会勧誘を積極的に推進する。

4. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款4条4号）

本年度は学会賞、業績賞、優秀研究賞、論文賞、学術奨励賞（内山賞）、学生講演賞（桜井講演賞）、技術功労賞、学会活動貢献賞、新技術・新製品賞、および出版賞の表彰を行う。

5. 内外の関連学協会との連絡及び協力（定款4条5号）

米国電気電子学会（IEEE）の Magnetics Society、韓国磁気学会（KMS）、台湾磁気技術協会（TAMT）、ロシア磁気学会および中国、英国、ドイツ、フランス等、国内外の関連学会団体と相互協力および情報交換を行う。国際化委員会では、Asian Union of Magnetics Societies (AUMS)（日本、韓国、中国、台湾、インド）を母体に、アジアでの協調体制確立に努める。AUMS Council Meeting に参加して、AUMS に関連する議案を審議する。

II 会議

この年度に開催する主要な会議である総会、理事会および顧問会は次により実施する。

1. 総会

本年度の通常総会は平成 28 年 6 月 15 日（金）に開催し、平成 28 年度事業報告および収支決算、平成 29 年度事業計画および収支予算などについて審議・議決する。

2. 理事会

本年度の理事会は、原則として 6 回開催し、総会および顧問会への提出議案の作成、総会での決定事項の実施、会務の整備、各事業の充実等について審議する。

3. 顧問会

学術講演会開催時に開催し、学会の諸活動に関して会長および理事会に意見を具申する。

4. その他

名誉会員および賛助会員の学会活動に対する意見を集めるため、名誉会員懇談会および賛助会員懇談会をそれぞれ年 1 回開催する。

III 公益法人運営体制の確立について

日本磁気学会の継続的發展を因るために財務体質の改善および会員サービス向上を目指して、理事会主導による学会改革活動を強力に推進する。本年度の各委員会活動ポイントは下記の通り。活動のポイント

総務委員会：事務効率向上および低コスト化の推進

財務委員会：財務状況の逐次把握および健全化の推進

企画委員会：賛助会員を含め会員の参加し易い研究会、学術講演会の開催

編集委員会：日本磁気学会論文特集号の電子ジャーナル化

広報委員会：電子媒体による広報活動の充実

国際化委員会：海外学協会との連携強化